

海外安全対策情報（2014年7月～9月分）

在サンクトペテルブルク日本国総領事館

1 社会・治安情勢

当地では社会・治安情勢は比較的安定しているものの、ウクライナ問題を起因とした抗議活動や民族主義団体等による集会・デモが行われ、治安当局による集会・デモ参加者への拘束事案も少なからず発生しており注意を要する。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

(1) 国家統計庁が発表した2014年1月から8月におけるサンクトペテルブルク市及びレニングラード州の犯罪発生件数は37,581件、前年同期比103.6%となっている。

犯罪種別の内訳は以下のとおり。

殺人（未遂を含む）	191件（前年同期比 116.5%）
重傷傷害	343件（ 90.3%）
強姦	43件（ 93.5%）
強盗（武器使用）	434件（ 90.0%）
強盗（武器未使用）	1,623件（ 76.2%）
窃盗	15,197件（115.1%）
詐欺	1,677件（ 80.9%）
薬物不法取引	9,369件（ 96.5%）

当地における邦人窃盗被害の多くはスリであり、バスや地下鉄利用時や観光スポット周辺において狙われることが多いことから、公共交通機関の利用を避けたり、観光スポット周辺では身の回りに注意する等の防衛策が必要となる。

又、パスポートの盗難被害に遭う邦人が多いため、パスポートは財布等と分けて保管したり、不要の際はパスポートのコピーを携帯する（当地においては賄賂目的以外で当局からパスポートの提示を求められることは希である）等、パスポートの紛失・盗難に心がける必要がある。

(2) 邦人被害事案

- ア 7月下旬，旅行者がネフスキー大通り沿いのカフェ店内で食事中，隣の椅子に置いていたカバンから財布（現金1，400ユーロ，2，100ルーブル在中），デジタルカメラ，携帯電話がいつの間にか盗まれた。
- イ 7月下旬，出張者がネフスキー大通りを歩行中，前後左右を4～5人のロシア人男性に囲まれ，ズボンの後ろポケットに入れていた財布（現金5，000ルーブル，クレジットカード2枚，運転免許証，健康保険証在中）が盗まれた。
- ウ 8月上旬，旅行者がイサク聖堂付近を歩いていると，背後に気配を感じた。振り向くとロシア人が傍らに立っていて「ソーリー」と言って立ち去った。不審に思い所持品を確認すると，背負っていたリュックサックが開けられて中から肩掛けバック（現金180米ドル，出入国カード等在中）が盗まれていた。
- エ 8月中旬，旅行者がネフスキー大通り沿いをエルミタージュ美術館に向けてバスに乗車し，同美術館付近の停留所で降車しようとしたところ，出入口付近でロシア人が手を伸ばし前方をふさいだ。このため後方から押されたが，すぐにロシア人の手を外して車外に出たところ，ズボンの後ろポケットから財布（現金6，000ルーブル，クレジットカード2枚在中）が盗まれた。
- オ 8月中旬，旅行者が宮殿広場からイサク聖堂に向かって歩行中，いつの間にか肩掛けカバンが開けられており，中から財布（現金1，800ルーブル，200ユーロ，クレジットカード2枚，キャッシュカード2枚在中）が盗まれていた。
- カ 8月中旬，旅行者が地下鉄「ネフスキー・プロスペクト」駅に入ろうとしたところ，ロシア人と思われる男が前方を塞ぎ，もう1人がズボンの後ろポケットから財布（現金4万円，クレジットカード2枚，キャッシュカード4枚等在中）を盗んだ。
- キ 8月下旬，出張者がネフスキー大通りを歩行中，いつの間にかリュックサックから財布（現金3万円，5，000ルーブル，クレジットカード4枚在中）が盗まれていた。

- ク 8月下旬、旅行者がバスに乗車し、ネフスキー大通り沿いにあるデパート「ゴスチーヌイ・ドボール」に到着し、降車しようとしたところ、前にロシア人が立ちはだかり、後ろから別のロシア人に押された。バスから降りると手提げカバンに入れていた財布（現金7,000ルーブル、クレジットカード2枚等在中）が無くなっていた。
- ケ 8月下旬、在留邦人が地下鉄「アドミラルスカヤ」駅構内で車両に乗り込もうとしたところ、出入口付近でロシア人に挟まれた。気づくとポケットに入れていた財布（現金4,000ルーブル等在中）が盗まれていた。
- コ 9月中旬、出張者が地下鉄「プローシャチ・アレクサンドラ・ネフスコヴォ」駅構内で電車に乗り込もうとしたところ、出入口付近でロシア人に囲まれた。気がつくときズボンの後ろポケットに入れていた財布（現金3,000ルーブル、クレジットカード2枚等在中）が盗まれた。
- サ 9月中旬、旅行者がネフスキー大通り沿いを歩行中、いつの間にか、ズボンの後ろポケットに入れていた財布（現金150ユーロ、クレジットカード2枚、運転免許証等在中）が盗まれた。
- シ 9月下旬、旅行者が、ボリシャヤ・コニューシェンナヤ通り沿いにあるアイリッシュパブで食事をとっていると、見知らぬ若いロシア人女性2人から英語で話しかけられ一緒に酒を飲んだ（途中でさらにロシア人女性1名が合流した）。その後、同人らとエルミタージュ美術館付近のパブに移動し、引き続き飲酒していたところ、記憶を失った。翌日の夕刻、宿泊先のホテルの前に到着したタクシー内で目を覚ました際、財布に入れてあった現金（900ルーブル）、身につけていた下着及び靴下が無くなり、さらにクレジットカード自体は盗まれていないが合計80万円分不正使用されていた。
- ス 9月下旬、旅行者がネフスキー大通り沿いを歩行中、いつの間にか後ろ掛けしていた肩掛けカバンのチャックが開けられ、中から財布（現金約25,000ルーブル、クレジットカード2枚等在中）が盗まれていた。
- セ 9月下旬、在留邦人が、レストランにて友人と食事中、自席の椅子の上にカバ

ンを置いて、隣の席にいた友人に荷物を見ていてくれるよう依頼し、トイレに行ったところ、いつの間にかカバン（財布（現金 1 万ルーブル、会員カード等在中）、自宅の鍵、iPad 在中）が無くなっていた。

（3）邦人以外の被害事案

ア 殺人・殺人未遂

- （ア）7 月上旬、市内沿海区の路上にて、19 歳のウズベキスタン国籍の清掃員が、酩酊状態で 46 歳のロシア人女性を刃物で数回切りつけた。被害者は病院に搬送され、犯人は逮捕された。
- （イ）7 月中旬、市内沿海区の森林公園内で、ポリ袋に入れられた女性 2 人分の絞殺死体が発見された。死体は外見上、中央アジア系女性で、強姦された形跡が認められた。後日、被疑者として 22 歳及び 30 歳のタジキスタン国籍の男が逮捕された。
- （ウ）7 月下旬、レニングラード州クイヴォズイ・フセヴォロシュキー区の民家にて 27 歳の男が、52 歳の母親と 39 歳の知人男性と口論になり、母親と知人を刃物で数回刺した。被害者は病院に搬送されたが、重体である。
- （エ）8 月上旬、市内ネフスキー区の路上にて 31 歳の男が、26 歳の男性と口論となり、相手を刃物で刺した。被害者は病院に搬送されたが、重体である。被疑者は逮捕された。
- （オ）8 月上旬、市内ヴィボルグスキー区のアパートにて 68 歳の家人と 43 歳の無職の男が酒を飲んで口論となり、43 歳の男が家人を刺殺した。被疑者は逮捕された。
- （カ）8 月上旬、市内クラスノセルスキー区のアパートにて年金生活の夫婦が酒を飲んで口論となり、妻が夫の頭部を鈍器で殴打し殺害した。妻は逮捕された。
- （キ）9 月下旬、市内クラスノセルスキー区のアパート内で、39 歳の男性家人と同人の知人である 45 歳の女性が口論となり、45 歳の女が相手の耳を噛みちぎった後、絞殺した。犯人は逮捕された。
- （ク）9 月下旬、市内地下鉄「プロシャチ・ムジェストバ」駅にてケンカが発生し、

28歳の男性が相手からナイフで胸部及び腹部を刺された。被害者は病院に搬送されたが重傷である。

- (ケ) 9月下旬、市内地下鉄「プロスペクト・ヴェテラノフ」駅にてケンカが発生し、36歳の男性が相手からナイフで胸部及び腹部を刺された。被害者は自ら救急車を呼び、病院に搬送されたが重傷である。

イ 強盗

- (ア) 7月上旬、市内フルンゼンスキー区のアパートにて、配達に来た女性郵便配達人に対し、何者かが暴行を加え、被害者の所持金4,000ルーブルを奪い逃走した。
- (イ) 7月中旬、市内ヴィボルグスキー区のサラ金店舗に強盗が押し入り、店員に暴行を加え、レジから現金20,000ルーブルを奪い逃走した。
- (ウ) 7月中旬、市内沿海区の道路上で強盗が24歳の無職の男性に暴行を加え、所持していたカバン（現金35万ルーブル在中）を奪い逃走した。
- (エ) 7月下旬、市内ペトログラードスキー区の路上にて2人組の強盗が53歳の男性の顔面を殴打し、所持金100万ルーブル及び2万米ドルを奪い逃走した。
- (オ) 8月上旬、市内ネフスキー区のサラ金店舗に覆面をした2人組の強盗が押し入り、店員に暴行を加え、レジから現金47,000ルーブルを、金庫から11,000ルーブルを奪い逃走した。
- (カ) 8月中旬、市内ヴィボルグスキー区の路上にて2人組の強盗が三菱社製の乗用車に乗った運転手に対し、けん銃を向けて脅し、同車両を奪い逃走した。
- (キ) 8月下旬、市内モスコフスキー区の携帯電話販売店に覆面をした2人組の強盗が押し入り、店員の胸部に向け外傷性拳銃を発砲し、店内から売上金約170万ルーブルを奪い逃走した。
- (ク) 8月下旬、市内中央区にある宝石店に強盗が押し入り、店員を外傷性拳銃で脅してショウケースを破壊し、宝飾品を奪って逃走した。
- (ケ) 8月下旬、市内モスコフスキー区のアパートに3人組の強盗が侵入し、住人であるウズベキスタン国籍の男女を刃物で脅し、現金約1万ルーブル及びパスポート

トを奪い逃走した。

(コ) 9月上旬, 市内ネフスキー区の宝石店に2人組の強盗が押し入り, 店員をけん銃様の物で脅し, ショウケースを割って宝飾品を奪い逃走した。

(サ) 9月中旬, 市内ネフスキー区のガソリンスタンドにおいて3人組の強盗が, 給油のため停車していた車の運転手を刃物で襲い, 現金5万ルーブル, 携帯電話及び車両を奪い逃走した。犯人は逮捕された。

(シ) 9月下旬, 市内中央区の宝石店に布で顔を隠した強盗が押し入り, 店員が持っていた商品(時価55,000ルーブル)を奪い逃走した。

(ス) 9月下旬, 市内ヴィボルグスキー区の宝石店に覆面をした2人組の強盗が押し入り, 警備員を武装解除させ, けん銃で店員を脅し, 宝飾品を奪い逃走した。

(セ) 9月下旬, 市内ペトロドヴォレツォヴヌイ区のピザ店に覆面をした2人組の強盗が押し入り, 店員をけん銃様のもの脅してレジから売上金70万ルーブルを奪い逃走した。

3 テロ・爆発事件発生状況

(1) 7月下旬, 市内プルコヴォ空港において「テロが発生する」旨の電話があった。警察が搭乗客等を避難させ, 空港内を警戒したが, 不審者, 不審物の発見には至らなかった。

(2) 9月上旬, 市内プルコヴォ空港において「爆弾を仕掛けた」旨の電話があった。警察が搭乗客等を避難させ, 空港内を警戒したが, 不審者, 不審物の発見には至らなかった。

(3) 9月中旬, 地下鉄「ネフスキー・プロスペクト」駅、「チェフノロジーチェスキー・インスティトゥート」駅及び鉄道「モスクワ」駅に「爆弾を仕掛けた」旨の電話があった。治安当局はこれらの駅の出入口を封鎖し, 検索に当たったが不審物の発見には至らなかった。

(4) 9月下旬, 地下鉄「プローシャチ・ヴァスターニヤ」駅にて爆弾を爆破する旨の電話があり, 治安当局が同駅を封鎖し検索したが, 不審物の発見には至らなかった。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

特になし。

5 日本企業の安全に関わる諸問題

特になし。